

【児童への話】

先週の8日水曜日から10日金曜日にかけて、6年生は箱根移動教室に行ってきました。

先週は6日月曜日から関東地方の梅雨入りが発表されましたが、箱根では天気に恵まれ、予定していた活動をすべて行うことができました。ナイトレクもとても楽しかったですね。そして、ゆく先々や宿泊施設で、6年生はとても立派な姿を見せてくれました。箱根の自然や文化に触れ、集団生活の楽しさを味わい、大きく成長できた6年生は、これからの学校生活でも、1年生から5年生を引っ張ってくれるリーダーとして活躍してくれることと思います。期待しています。

さて、明日からいよいよ水泳学習が始まります。このあと、プール開きを行います。プールでの学習は、気温と水温を合わせて50℃以上にならないとできませんので、これから1～2週間は難しいかもしれませんね。入れたらラッキー、くらいに思っておいてください。先生の指示をよく聞いて、安全で楽しい水泳学習ができるようにしましょう。

＜プール開き＞

校長先生はプールが大好きです。クロールや平泳ぎでゆっくり長く泳ぐと、身体がフワフワ浮いているような気持ちよい感覚になるからです。でも実は、校長先生は小学校4年生までプールが好きではありませんでした。泳ぎ方が分からなかったので、バタ足とバラバラな手で必死に泳いでも、いつもきまって7mまでしか行けませんでした。

そんな校長先生が、5年生のときからたくさん泳げるようになったのは、なぜでしょうか。次回の朝礼では、そのお話をします。では、プール開きを始めましょう。

【本講話について】

6年生は、コロナ禍のために4年の岩井、5年の孀恋での宿泊学習ができなかった学年です。心から楽しみにしていた最初で最後の宿泊行事が実施でき、楽しく、思い出深いものとなったことは、本当に喜ばしいことです。子どもたちは、とてもよい表情で帰ってきました。

宿泊学習や水泳学習など、できるようになりつつある活動が増えている今、この2年間以上にわたるコロナ禍において見直した活動の意義や実施方法とのすり合わせを行い、より安全でより有意義な教育活動を展開していくことが求められています。「すべては子どもたちのために」成長と将来を見据え、必要な指導を確実に行っていきます。これからもよろしくご協力ください。